

メディアコンテンツの種類と特徴

2003.10.14 CXMedia Inc.

名称	概要	特長	使用時に必要な注意
GIFアニメ AnimationGIF	GIFのコマ送りでアニメーションを表現するもの。	・ほぼすべてのブラウザで表示可能。・容量を軽く作ることができる	ページ内にくつも使うと画面が非常に見にくくなる。尺の長いアニメには向かない。
Flash (Macromedia)	複雑な動きや、インタラクティブな画面を作ることができる。	・形状やフォントをベクトルデータで持つことができるので、容量を軽く作ることができる。プラグインの中では普及率が高い。	プラグインがないと見ることができない。
RealVideo/Real one (RealTchnology)	ストリーミング技術の代表格。音声や映像をほぼリアルタイムで配信可能。	・音声はFMラジオ並みのクオリティで配信することが可能。・長尺の音声ファイルや、映像を流すことが可能。 ・ストリーミング系では最も普及率の高いプラグイン	プラグインがないと見ることができない。映像は速度の遅い回線ではコマ送りにってしまう場合がある。
JavaScript	ウィンドウの制御やロールオーバーなどの表現が可能なhtmlに埋め込み可能なスクリプト言語。	簡単なロールオーバーやウィンドウ制御などは対応ブラウザが多い。時間表示などシステムのリソースを使った表現が可能。特別なプラグインが不要。	ブラウザのバージョンが古いと対応していない場合がある。インターネットエクスプローラーとネットスケープで対応状況が違うため、ブラウザによっては見ることができない場合もある。
ShockWave (Macromedia)	ゲームなど高度なインタラクティブ性や動きが可能。	高度なインタラクティブ性、高度な動きが可能。プラグインの普及度も高い。・音声再生も高音質。	プラグインがないと見ることができない。ファイル容量が大きいため、表示に時間がかかる場合もある。
Javaアプレット	htmlファイルに埋め込むことのできるプログラム言語。ブラウザ上でプログラムを実行することができる。	プログラム言語なので、非常に高度な動きやインタラクティブ性を作り出すことができる。ユーザーのパソコンにプログラムソフトを立ち上げるのでプラグインが不要。	・アプレットはプログラムなので、読み込みから起動するまでに非常に時間がかかる。IEとNetscapeで対応状況が違うため、ブラウザによっては見ることができない場合もある。
スタイルシート(CSS)	テキストの行間、色、背景色、サイズ、スタイルなどの細かい指定ができる。	・記述ファイルでスタイルを自由に設定するためほぼ自由にテキストのスタイルを設定配置できる。・画像ファイルに匹敵するような文字組みを組むことも可能。	各端末側のシステム内のフォントを使うため、必ずしも思ったように表示できない場合がある。サポートしていないブラウザがあるうえ、表示可能なブラウザでも表示が異なる場合がある。
Quicktime (Appleコンピュータ)	デジタルビデオフォーマットの代表格。最近ではストリーミングへも対応。	デジタルビデオの代表格としての編集ソフトの多さなど制作環境は揃っている。各種メディア形式から変換ソフトも揃っている。(QuickTimePro 有料:3,780円(税込))	プラグインがないと見ることができない。ストリーミング版のプラグイン普及率が低い。(Quicktime6以上)
Windows Media Player (Microsoft)	Quicktimeと同様で、windowsのパソコンで普及している。(Mac用にも対応)	デジタルビデオや音楽の制作環境は揃っている。MP3も対応。	プラグインがないと見ることができない。まだまだストリーミング版のプラグイン普及率が低い。
MIDIPLUG (YAMAHA)	MIDI音源で音楽再生可能。	・素早い再生が可能。MIDIファイルをそのまま流用できる。	内蔵音源が少ないため、再生される音は表現が限られる。
Acrobat (adobe)	アドビ社のPDF形式のファイル表示	カタログなどをそのままウェブへ掲載できる。	プラグインが必要。ファイルにもよるが、動作が重い